



Serviceability Reports Archive の設定

Cisco Serviceability Reporter サービスは、Cisco Unified Serviceability の日次レポートを生成します。各レポートには、その特定レポートの統計情報を表すさまざまなグラフを含む要約が表示されます。Reporter は、ログに記録された情報に基づいて、レポートを 1 日に 1 回生成します。

ここでは、[Serviceability Reports Archive] ウィンドウの使用方法を説明します。

始める前に

Cisco Serviceability Reporter サービスをアクティブにします。このサービスは CPU を集中的に使用します。そのため、このサービスは、コール処理を実行していないサーバ上でアクティブにすることをお勧めします。サービスをアクティブにしてからレポートが生成されるまで、最大 24 時間かかる場合があります。

手順

ステップ 1 [Tools] > [Serviceability Reports Archive] の順に選択します。

[Serviceability Reports Archive] ウィンドウに、レポートを表示できる月と年が表示されます。

ステップ 2 [Month-Year] ペインから、レポートを表示する月と年を選択します。

その月に対応する日付のリストが表示されます。

ステップ 3 レポートを表示するには、レポートが生成された日に対応するリンクをクリックします。

選択した日のレポート ファイルが表示されます。

ステップ 4 特定の PDF レポートを表示するには、表示するレポートのリンクをクリックします。



ヒント

サーバ名を使用して Cisco Unified Serviceability をブラウズした場合は、レポートを表示する前に Cisco Unified Serviceability にログインする必要があります。



ヒント

ネットワークで Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換) を使用していて、NAT 内部のサービスアビリティ レポートにアクセスする場合は、NAT に関連付けられているプライベート ネットワークの IP アドレスをブラウザの URL に入力します。NAT 外部のレポートにアクセスする場合は、パブリック IP アドレスを入力すると、そのアドレスに応じたプライベート IP アドレスへの変換またはマッピングが NAT によって行われます。

**ヒント**

PDF レポートを表示するには、Acrobat® Reader をマシンにインストールする必要があります。Acrobat Reader をダウンロードするには、[Serviceability Reports Archive] ウィンドウの下部のリンクをクリックします。

ウィンドウが開き、選択したレポートの PDF ファイルが表示されます。

追加情報

[P.12-2 の「関連項目」](#) を参照してください。

関連項目

- *Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool* アドミニストレーションガイド
- [Serviceability Reports Archive の概要 \(P.10-1\)](#)